



ひな祭り(3月3日)

ひな祭りとは、3月3日の桃の節句のことで、女の子のお祝いをする日。

女の子の健やかな成長や幸せを祈って、お祝いをします。

どうして雛人形を飾るの？(ひな祭りの由来)

雛人形は、子どもたちの代わりに病気や事故から守ってくれるとされています。

そのため、女の子が元気で幸せになるようにお祝いの気持ちや願いを込めて飾ります。

昔は、紙で雛人形を作って、病気やけがなどのよくないものを持っていってもらうように川に流す「流し雛」をしていたそう。

だんだんと雛人形が素敵なものになってきたので、今は飾ることが多いけれど、昔のように「流し雛」をしてお祝いをするところもある。

どうやって過ごす？

雛人形は、立春(2月4日頃)から2月中旬にかけて飾り、ひな祭りが終わったらできるだけ早くしまうのが良いとされています。

関東などでは一般的に、お内裏様(お殿様)を向かって左、お雛様を向かって右に飾ります。

古式を好む京都などでは反対に飾るところが多いそう。

※お内裏様の「内裏」ですが、宮殿(天皇さまの私的区域)のことを指し、本来は「お殿様」と呼ぶのが正しい、とも言われています。